



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

U A C J グループにおける取組紹介

2025年7月4日

株式会社UACJ

ビジネスサポート本部 法務部



会社概要



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

UACJのご紹介

U A C J は、古河スカイと住友軽金属工業が統合してできた
アルミニウム等の製品を製造・販売している会社です。

古河スカイ株式会社

- 1905 アルミニウム板圧延開始
- 1910 アルミニウム電線の研究を開始
- 1970 国内初のアルミニウム製LNG地上タンク用厚板を製造開始
- 1971 国内初のアルミニウム缶ボディ用材料を製造開始
- 1983 福井で世界有数最新鋭の板圧延工場が稼働
- 2003 古河電気工業（株）とスカイアルミニウム（株）のアルミニウム事業が統合し、古河スカイ（株）を設立
- 2005 中国に押出事業の現地法人を設立
翌年にはベトナムに鋳物事業の現地法人を設立
- 2007 設備投資が必要な板事業で、海外企業との提携を推進。ギリシャ、英国、韓国、中国など、有力アルミニウム会社に順次、資本参加
- 2012 タイに、自社のアルミニウム板圧延工場の建設を開始

住友軽金属工業株式会社

- 1898 国内初のアルミニウム圧延事業を開始
- 1936 国内初の超々ジュラルミンを開発
- 1941 名古屋に名古屋軽合金製造所を建設
- 1959 住友金属工業（株）の仲飼、アルミニウム圧延部門が分離して住友軽金属工業（株）を設立
- 1966 アルミニウム板新熱間圧延設備が稼働
- 1969 仲飼事業の拡大を企図し、最新鋭の鋳管製造工場を建設
- 2011 世界のアルミニウム缶市場の4割を占める米国での事業拡大を目的に、古河スカイ（株）等と共同でアルミニウム板圧延製造販売会社の株式を取得

名称

株式会社U A C J

本店所在地

東京都千代田区大手町一丁目7番2号

事業内容

アルミニウム等の非鉄金属及びその合金の
圧延製品・鋳物製品・鋳造製品並びに加工品の
製造・販売等

資本金

522億77百万円

売上高

連結9,988億円 (2024年度)

従業員

連結 約10,203名 (2025年3月31日現在)

アルミニウムの特性と需要

軽さ・電導性・熱伝導性・無毒・加工性等の特性から、
アルミニウムは、世界経済の発展とともに需要拡大中です。

軽い

低温に強い

接合しやすい

磁気を
帯びない

表面処理
しやすい

強い

毒性がない

真空特性が
よい

電気をよく通す

鋳造しやすい

耐食性がよい

光や熱を
反射する

再生しやすい

熱をよく伝える

加工性がよい



自動車分野

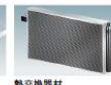
軽量化で
性能・燃費向上、インフラ
長寿命化に寄与



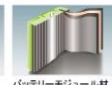
ボディパネル材



構造部材



熱交換器材



バッテリーモジュール材



航空・宇宙分野

最先端技術を活用して、
安全性と燃費向上の両立する

船舶分野

高速化・軽量化・耐食性向上に貢献する



飲料缶分野

リサイクル原材料の活用で、
社会の環境負荷を低減



医薬品・食品分野

無害・密閉性などの
特性を活かして、
安全・安心な暮らしに貢献



IT分野

軽量かつ意匠に優れるデザ
インと使用性能を実現

建築分野

景観性と作業性の向上で
活用が広がる

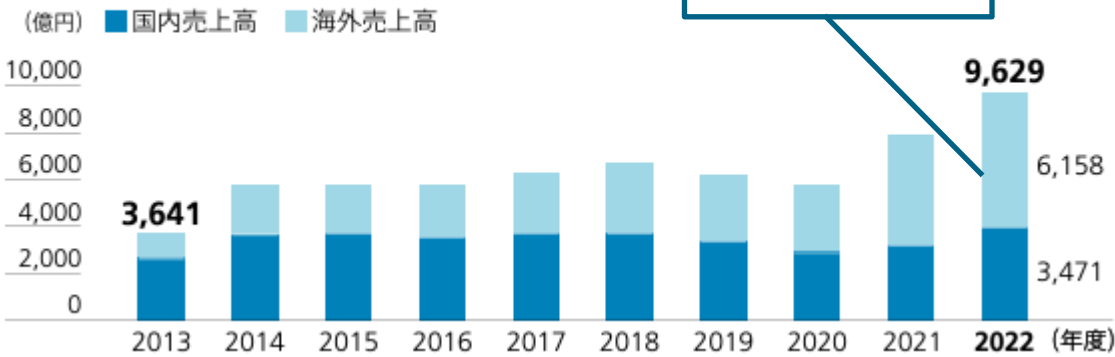


UACJグループのご紹介

日・米・タイを中心として、グローバルな需要に応える体制を構築
海外売上高 > 国内売上高（国内シェアトップ）

海外売上高
比率64%

売上高推移



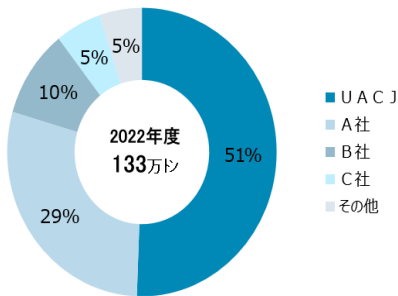
2022年度 年間生産量ランキング板圧延

1位	A社	390万トン
2位	B社	160万トン
3位	UACJ	140万トン
3位	C社	140万トン
5位	D社	130万トン

出典：当社調べ

国内シェアトップ

2022年度 国内 アルミ板 生産数量・シェア



出典：軽金属ダイジェスト（2023年8月21日）



UACJグループのマテリアリティ

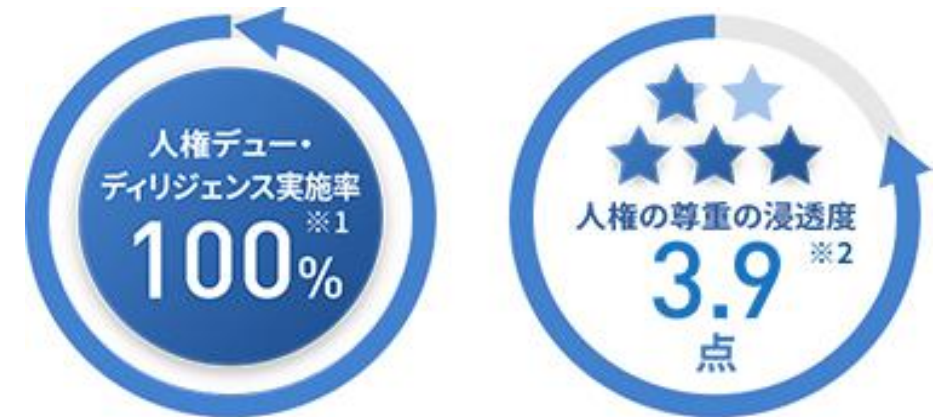
- UACJグループは、社会とともに持続的に成長していくうえで、私たちが優先的に取り組むべき課題を「マテリアリティ」として特定し、2021年度よりグループ一体となって中長期的に取り組んでいます。
- 「マテリアリティ」の中で、「誰もが幸せで幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会」のために取り組んでいく重要課題の1つに「人権の尊重」があります。



ありたい姿

国連や国別行動計画で求められる取り組みのUACJグループ全体への浸透と定着を目指します。

2030年度達成目標



※1 人権デュー・ディリジェンス実施率＝人権デュー・ディリジェンスを実施したグループ会社の従業員の総数／当社グループ従業員数

※2 人権の尊重の浸透度＝コンプライアンス・人権に係るエンゲージメント調査設問項目の平均点数

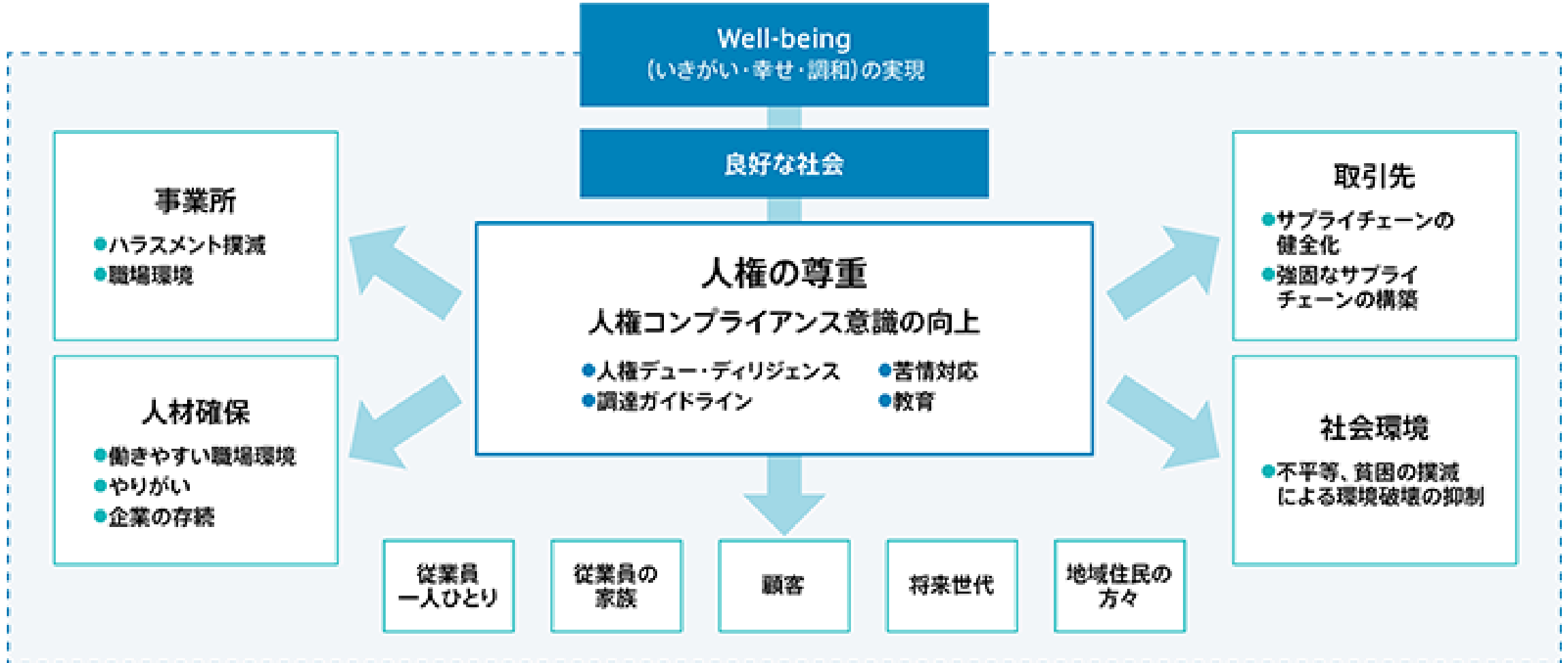
UACJグループにおける取組み



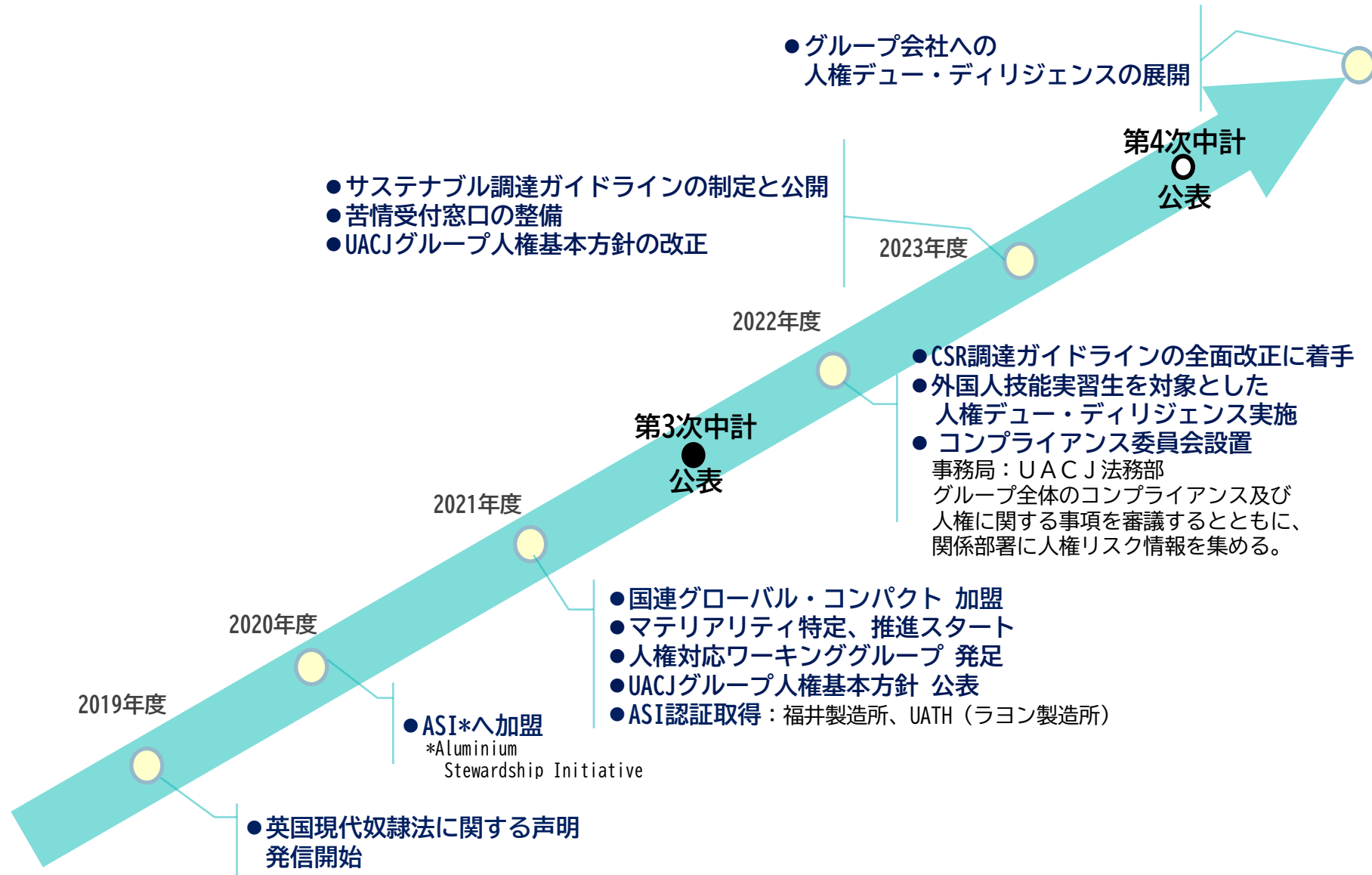
Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

UACJグループにおける「人権の尊重」の考え方



これまでの取り組み



人権デュー・ディリジェンスの取組み

マテリアリティ「人権の尊重」のKPIとして人権デュー・ディリジェンス実施率を設定しており、拠点の規模や、苦情の受付件数、外国人技能実習生の在籍等の状況を踏まえて、優先度の高い拠点から順次実施し、2030年度までにUACJグループ内の実施率を100%とすることを目指しています。

これまでの実績は以下のとおりです。

年度	実施拠点	結果
2021	UACJ 福井製造所	直ちに対策を要する人権への負の影響とリスクは特定されなかった。
	UACJ (Thailand) Co., Ltd.	
2022	UACJ押出加工名古屋 名古屋製作所	
	UACJ押出加工名古屋 安城製作所	
2023	UACJ 名古屋製造所	
	UACJ Australia Pty. Ltd.	
	鎌倉産業	
2024	UACJ押出加工小山、UACJ鋳鍛小山製作所	
	UACJ Trading Czech s.r.o.	
	UACJ Marketing & Processing	
	UACJ 深谷製造所	

- 拠点責任者及び外国人技能実習生を含む従業員からのヒアリング
 - 雇用契約書等の書類や規程の確認
 - 拠点事務所、工場内の確認
- 等を実施し、リスクの軽減・解消が必要な事項が発見された場合には、早期に対処します。

教育の取組み

- UACJグループでは、グループ理念の実現に向けて、行動指針「UACJウェイ」のもと、グループすべての役員および従業員が遵守すべき事項を定めた「グループ行動規範」を制定しています。
- 毎年度1回実施する、海外グループ会社を含むUACJグループ全体を対象とした「グループ行動規範」の教育の機会をとらえ、従業員への「人権への配慮」の取組みの浸透に取り組んでいます。



サプライチェーンへの取り組み

- UACJグループでは、環境、社会、ガバナンスに配慮したサステナビリティ活動を推進しています。
- UACJグループのサステナブル調達に対する考え方をお取引先の皆様にご理解いただくために、「UACJグループサステナブル調達ガイドライン」を制定し、趣旨に同意いただけるよう、周知活動を推進しています。

UACJグループサステナブル調達ガイドラインの概要

1. はじめに
2. UACJグループ理念
3. サステナブル調達ガイドライン
 - 3.1. 法令遵守・国際規範の尊重
 - 3.2. 人権・労働
 - 3.3. コンプライアンス
 - 3.4. 情報公開
 - 3.5. 安全衛生
 - 3.6. 環境
 - 3.7. 品質・安全性
 - 3.8. 事業継続計画
 - 3.9. 社会貢献
4. ガイドラインの遵守体制
 - 4.1. ガイドライン遵守プロセスの支援・提供
 - 4.2. 適切な輸出入管理
 - 4.3. **相談・協議・救済**
 - 4.4. 取り組み状況の開示
5. 皆様の取引先様への展開のお願い
6. 実態調査
7. 相互コミュニケーション
8. 関係する各種方針

- ガイドラインの周知活動と合わせて、お取引先様向けグリーンバンス窓口(e-mail)を周知しています。



UACJ

Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界